



その場所のもつ歴史や意味、地形や風の流れといった文脈を読むことを始点として建築はつくられていきます。つまり建築をするという行為の原点には、「場」を読み解く力が始まりであり、最も重要なことだといえます。これを「日本の心の故郷」とも呼ばれる高野山で学ぶことは、建築の道を歩み始めた次の日本を背負う学生にとって大切なことであり、これから建築をつくる揺るぎない基軸となっていくことだと感じています。

【開催の経緯】

建築ワークショップとは、建築や環境デザイン等の分野を専攻する学生がキャンパスを離れ、国内外にて活躍中の建築家を中心とした講師陣の指導のもと、その場所における社会的な実作品をつくりあげていくことを目的としています。2001年度から始まったこのワークショップは関西近郊の各地で行われ、市や村の支援を得ながら、有意義な成果を残してきました。



(建築学生ワークショップ平城宮跡 2010 制作作品)

(建築学生ワークショップ竹生島 2011 制作作品)



開催場所 高野山真言宗総本山 金剛峯寺 境内他
平安時代より弘法大師空海が修行の場として開いた高野山。
ユネスコの世界文化遺産に文化財として登録されている。

【スケジュール】

- 5月21日(木) 参加説明会開催(東京大学)
- 5月22日(金) 参加説明会開催(京都大学)
- 5月31日(日) 23:59 必着 参加者募集締切(参加者決定)
- 7月4日(土) 現地説明・調査
- 8月1日(土)~2日(日) 提案作品講評会(1泊2日)
- 1日(土) 提案作品講評会
- 2日(日) 制作打ち合わせ(具体的な発注と手配)
- 8月3日(月)~8月24日(月) 各グループ課題の制作
- 8月25日(火)~31日(月) 合宿にて原寸制作(6泊7日)
- 25日(火) 現地集合・資材搬入・制作段取り
- 26日(水)~29日(土) 原寸模型制作(実質4日間)
- 30日(日) 公開プレゼンテーション
- 31日(月) 清掃・解散

“今、この場所から”伝えたいことを、空間として表現しました

高野山に、全国で建築を学ぶ大学生が集まり、過去1200年に渡って受け継がれてきた歴史を、現代の問題とともに未来へとつなげていくために、「今、この場所から」伝えていくべきことを、それぞれが真剣に考え、原寸大の空間として表現します。総本山金剛峯寺を中心とする区域において、作品を展示することで、訪れた人が中に入り、心を落ち着かせ、歴史と対話することができる、小さな建築空間を1日だけ創出します。

計画地



1班 根本大塔横

2班 西塔横

3班 根本大塔前

4班 金剛峯寺境内

5班 霊宝館前

6班 六角経蔵前

7班 西塔横

8班 金剛峯寺境内

【お問合せ】 ©AAF Art&Architect Festa 特定非営利活動法人(NPO法人)アートアンドアーキテクトフェスタ ウェブ www.aaf.ac Eメール info@aaf.ac

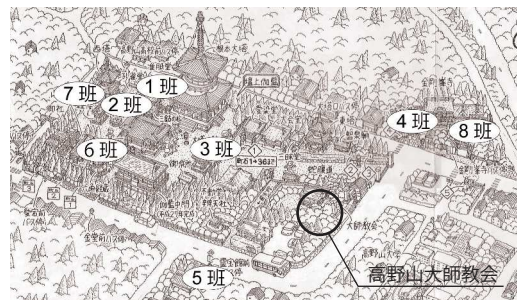
主催 AAF 特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ
後援 和歌山県 和歌山県教育委員会
日本建築学会 日本建築家協会 日本建築士会連合会 日本建築士事務所協会
日本建築協会 日本建築士事務所協会連合会近畿ブロック協議会
和歌山県建築士事務所協会 近畿建築士会協議会 和歌山県建築士会
地域協力 和歌山大学 高野山大学 特別協力 高野山真言宗総本山金剛峯寺

【参加費】 無料 | 【定員】 500名(事前申込制・当日会場にて先着順座席選択)
【申込方法】 【要申込み】ウェブサイトよりお申込みください
「建築学生ワークショップ」で検索、もしくは <http://ws.aaf.ac>



09:00-12:30 各敷地にて作品視察(各自)

- 13:00 金剛峯寺大師教会にて講評会開始
- 13:30 第一部 発表・講評(4グループ×20分)
- 14:50 休憩
- 15:10 第二部 発表・講評(4グループ×20分)
- 16:30 審査、審査結果発表、総評、表彰式
- 17:30 閉会 18:00 撤収



作品展示場所

公開プレゼンテーション会場
金剛峯寺大師教会
〒648-0294 和歌山県伊都郡高野町高野山132



交通 南海高野線「高野山駅」より、南海りんかんバスで「金剛峯寺前」下車すぐ

参加対象者

建築および環境デザイン等の分野を学ぶ学生および院生



参加大学 (2011年度参加校)
東京大学 京都大学 大阪大学 京大芸術大学 東京工業大学 和歌山大学 京都工芸繊維大学 滋賀県立大学 成安造形大学
京都府立大学 大阪市立大学 近畿大学 奈良県立大学 東京理科大学 武蔵野大学 日本女子大学 神戸芸術工科大学 東洋大学

参加予定講師

近畿二府四県で教鞭を執られ日本を代表するプロフェッサー・アーキテクトと、世界の構造研究を担い、大学で教鞭を執られるストラクチャー・エンジニアです。また現在、第一線で活躍をされている、若手の建築家や構造家にも参加いただけます。



遠藤秀平 (神戸大学工学部教授) 長田直之 (奈良女子大学生活環境学部准教授) 藤本庸介 (滋賀県立大学人間文化学部准教授) 本多友常 (岡山大学名誉教授)



横山俊祐 (大阪市立大学工学部教授) 腰原幹雄 (東京大学生産技術研究所教授) 佐藤淳 (東京大学工学部准教授) 陶器浩一 (滋賀県立大学環境科学部教授)



森本一彦 (高野山大学准教授) 江村哲哉 (アラップ構造エンジニア) 小野田一之 (旭ビルウォール常務取締役) 芦澤竜一 (芦澤竜一建築設計事務所主宰)



幸家大郎 (幸家大郎建築研究所主宰) 西沢立衛 (西沢立衛建築設計事務所主宰) 平沼孝啓 (平沼孝啓建築研究所主宰) 吉村靖孝 (吉村靖孝建築設計事務所主宰)

Special Thanks 制作協力: 近畿建築士会協議会青年部会